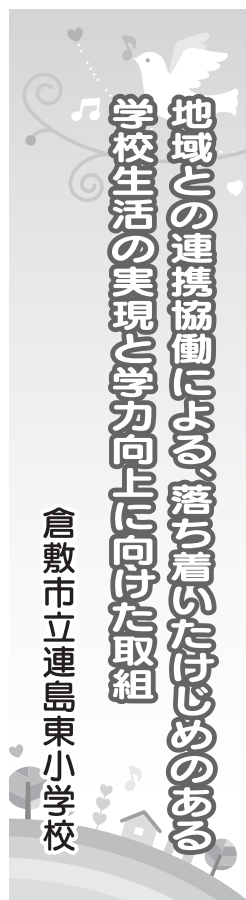


広げよう！優良実践の輪！

～平成29年度 優良実践校の取組～

取組 5



1 はじめに

本校は、県南部に位置し、児童数約430名の中規模校です。これまで生徒指導上の問題などにより学級・学年が落ち着かない状況が続いていました。また、学力面でも、長年にわたって全国学力・学習状況調査の結果が全国平均を下回るなどの課題がありました。そこで、次の3点をコンセプトにして(図①)、地域と連携協働して教育活動を進めています。

2 重点的な取組

(1) 「めざせ！あいさつ日本」

「めざせ！あいさつ日本」を合言葉に、地域の方々と一緒に、おはようハイタッチ運動に取り組んでいます。地域の方々にあいさつをほめられると、「連東ですから」と胸を張って応える児童が増えてきました。また、

学校で始まったあいさつ運動は、町を挙げての取組に広がっています。

(2) ボランティアの活用

本校は、平成29年度から地域学校協働本部を立ち上げて、積極的に授業や校内環境整備等に学校支援ボランティアの活用を

H29 連東小 教育の重点

**I 様々な人がかかわる
開かれた学校 (連携・協働)**

II かかわりを広げ、心の育成

**III けじめのある学校生活と
学ぶ意欲、確かな学力**

図①

進めています。放課後サポート学習の支援、校外学習の引率、体力テストの測定補助、花壇整備、芝刈り等、様々な場面で学校支援ボランティアの方々にお世話になっています。



地域と一体となって子ども学校を支える

(3) OJT研修の日常化

本校では、国語科・体育科・総合的な学習の時間の三本柱で校内研究に取り組んでいます。日々の授業改善につながる校内研究になるように、隔週に研修日を設け、学年を越え同じ教科

の仲間が集まる三部会を行っています。この三部会では、よりよい授業を目指して、教材研究・模擬授業・実技研修などに取り組んでいます。

(4) 主体的・協働的な児童の学びをめざして

毎時間の授業の中に話し合い活動を位置づけたり、タブレットを積極的に活用したりして、児童が主体的・協働的に学ぶことができるように工夫しています。

3 おわりに

本校では、こうした取組により、落ち着いた学校生活が実現できるようになりました。また、児童の授業に対する意識は大きく変わり、主体的・対話的な学び、そして探究的な学びができてきていると思っている児童が増えました。(児童意識調査より)

今後も、地域との連携協働を進めていくとともに、学び合う教師集団、そして、学級集団づくりを進めていきたいと思えます。

(教頭 佐野 薫)